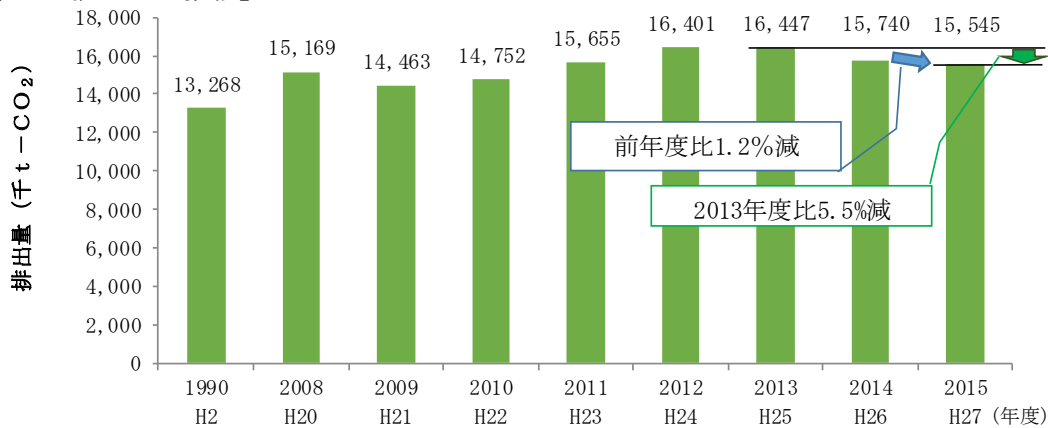


本県における 2015 年度(平成 27 年度)の温室効果ガス排出状況について

1 温室効果ガス排出量

- 県内の排出量：15,545 千 t-CO₂ (全国の 1.2%)
- 前年度比 (2014 年度 (平成 26 年度) 比)：1.2%減少
※前年度と比べて排出量が減少した要因としては、エネルギー消費量が産業部門において 4.7%増加した一方、電力消費量が業務その他部門で 5.6%減少、家庭部門で 8.7%減少したこと、さらには 1kWh の電力を発電する際に排出される二酸化炭素排出量を示す電力排出係数が 2.6%低下したことなどの減少要因により、全体として 1.2%の減少となったと考えられます。
- 青森県地球温暖化対策推進計画 (改定版) の基準年度比 (2013 年度 (平成 25 年度) 比)：5.5%減少
※同計画の目標値：2030 年度までに 2013 年度比で 31%削減

【温室効果ガス排出量の推移】



2 部門別の二酸化炭素排出量

	排出量 (千t-CO ₂)	構成比	前年度比	2013 年度比	(参考) 1990 年度比
産業部門	4,926	34.9%	4.0%	-3.2%	17.1%
業務その他部門	2,508	17.8%	-4.4%	-8.8%	43.2%
家庭部門	3,411	24.2%	-6.5%	-10.3%	48.7%
運輸部門	2,128	15.1%	-0.2%	-1.5%	6.5%
その他部門	1,124	8.0%	-3.7%	1.9%	-35.3%
合計	14,096	100.0%	-1.5%	-5.4%	17.6%

○2013 年度 (基準年度)からの減少理由として推測される主な要因 (電力排出係数以外)

- ・産 業 部 門：製造業のエネルギー効率の向上による電力消費量の減少
- ・業 務 其 他 部 門：省エネ型の電化製品及び建築物の普及による電力消費量の減少
- ・家 庭 部 門：省エネ型の電化製品及び住宅の普及による電力消費量の減少
- ・運 輸 部 門：乗用車の燃費向上

<参考> 二酸化炭素の長期的な排出傾向

- 前計画の基準年度 (1990 年度 (平成 2 年度)) 比 17.6%増加
- 増加理由として推測される主な要因 (電力排出係数以外)
 - ・産 業 部 門：製造業の生産活動の増加による電力消費量の増加
 - ・業 務 其 他 部 門：事務所や店舗の床面積の増加・社会福祉施設等の増加
 - ・家 庭 部 門：世帯数の増加、家電製品の普及・多様化
 - ・運 輸 部 門：自動車台数の増加、自動車利用の増加